

ほお、それかあ。



この言葉は、私が社員や家族からいろいろな話を聞いた際、その内容に合点がいったときに出る口癖でした。生来、無口で口下手な私にとっては、いろいろな意味を伝える便利な言葉でした。

今回、僭越ながらみなさまに私の88年の人生を振り返っていただくに際し、本誌のタイトルとさせていただきます。

廣川 仁 88年の生涯

目次

① きょうは私の89回目の誕生日。……………	3	⑩ 失敗が続いても、絶対に諦めない。……………	23
② 仁ちゃんは、何事にも……………	5	⑪ 紙屋のあんたにプラスチックは無理やで。……………	25
がんじよするげえなあー。……………	5	⑫ 足元を見るな、心を見ろ。……………	27
③ 苦労を買いに大阪へ行ってみよう！……………	7	⑬ 出社や退社の順番がよその会社とは逆ですね。……………	29
④ こんな会社におつてもしょうがない。……………	9	⑭ 仕事には大胆に、人には繊細に。……………	31
⑤ うちに来い！……………	11	⑮ あんたは税金を払うのが趣味なんか？……………	33
廣川 恕 ^{しゅう} について……………	11	⑯ でき過ぎた孝行息子は傍迷惑 ^{はた} や！……………	35
よそにはないものを売れ、……………	13	⑰ 1枚の毛布と1曲のカラオケが気持ちを結ぶ。……………	37
次の時代が求めるものを作れ。……………	13	⑱ 望郷の恩返し。……………	39
⑥ 易しい道の先には、……………	15	⑲ 顧客が繁盛してナンボ。……………	41
修羅場が待ち受けていることを知った。……………	15	⑳ 3・11で失ったものはたくさんあるが……………	43
⑦ 仕事だけでは気持ちは繋がらない。……………	17	㉑ 誰に何と言われようと信念を貫いてきた。……………	45
⑧ 奇妙な新婚生活を始めた「若年寄」。……………	19	㉒ それでは、みなさま、さようなら。……………	47
⑨ 人の命は有限、企業の命は永遠。……………	21		